

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、9～19℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――五島奈留地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり2トンの水揚げ前週の67%（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり14トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり105kgの水揚げで、前週の77%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり3.8トンの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島有川地区では、マサバなどが1日1統当たり410kgの水揚げ。五島魚目地区では、サンマなどが1日1統当たり226kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヤリイカなどが1日1統当たり77kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり511kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり176kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/20～1/25の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北側で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～能登半島～佐渡沖～酒田沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）5日延35隻、総計3,160箱、1航海最高230箱、平均90.3箱。
スルメイカ（20～30入）2,475箱、ヤリイカ（20～25入）685箱の混獲となった。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-4号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>